

【令和5年度授業改善推進プラン 外国語・外国語活動】

板橋区立高島第三小学校

<p>■児童の状況</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・物の名前、色、数字、曜日など単語を発音することに対して意欲的である。 ・ALTや友達と英語を通して交流したり、英語を話したり聞いたりすることを楽しんでいる。 ・元気よく歌やアクティビティに取り組み、外国語に慣れ親しんでいる児童が多い。 ・インタビューゲームなどでは、語彙や構文を使いながら積極的にALTや友達とコミュニケーションをとっている。 ・高学年では、英語を書いたり（特に小文字）、会話したりすることに苦手意識をもっている。（聞くことに関しては興味をもっているが、アウトプットに苦手意識をもつ児童が多い。）
<p>■指導についての課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を声に出すことや、ALTとの会話を恥ずかしがる児童のために、より積極的に参加できる工夫が必要である。 ・アクティビティやゲームが楽しくなりすぎて、学習のめあてからそれてしまうことがある。 ・高学年では、アルファベットを正しく書けるようにするために、書き取りの時間を設定する等、アウトプットを積極的にさせていく必要がある。
<p>■授業改善に向けての具体的な方策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ねらいを明確にした活動を取り入れ、楽しみながら英語に親しんだり、英語のスキルを身に付けたりできるように、授業展開を工夫する。 ・めあてを達成できる学習活動を行うために、デジタル教材「Let's try!1、2」や「JUNIOR TOTAL ENGLISH」の有効な活用方法を研究し、教具を検討し、指導法の研修を計画的に行う。 ・慣れ親しんだ語彙や構文を使って表現したり、コミュニケーションを図ったりする場面を、評価規準を基に指導計画に位置付ける。 ・ペアやグループの活動をさらに取り入れることで、会話する機会を多くもたせ、表現する楽しさや喜びを味わわせる。 ・デジタル教材やフラッシュカードを積極的に活用する。 ・授業の中でアルファベット（大文字・小文字）を書く時間を必ず設定する。計画的に書き取りの確認を行う。